

# 鼻から入れる胃の内視鏡検査・5つの特長

# 鼻から入れる胃の内視鏡検査 検査の進め方

鼻の中はとても敏感ですので鼻腔内を麻酔します（鼻腔内に注射するものではありません）  
※この手順は施設によって異なります。あらかじめ医療機関にご確認ください。

## 問診

危険を回避するための事前チェック

例えばこんなことを聞かれます

- 「薬のアレルギーはありませんか？」
- 「耳鼻咽喉科の先生から、鼻が悪いと言われたことはありませんか？」
- 「鼻血がよく出ませんか？ 血が止まりにくいことはありませんか？」
- 「肝臓が悪いと言われたことはありませんか？」
- 「血液をサラサラにする薬を飲んでいませんか？」

## 苦痛が少ない

直径5.9ミリの細くしなやかなスコープ

医師と同じ画像を見ながら、リアルタイムで話せる

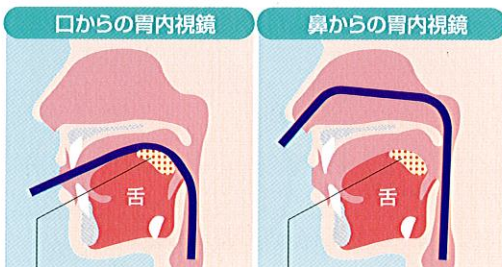
## 話せる

## 麻酔事故のリスクが少ない

スコープが舌のつけ根に触れにくい

おうとはんしゃ  
**嘔吐反射が起きにくい**

## 検査後30～60分で 飲食や車の運転ができます



この部分にスコープが触れると、吐き気を感じます。この部分に、スコープは触れにくい。



1

消泡液を飲みます。（胃の中をきれいになります）

2

ひくう  
鼻腔に局所血管収縮剤をスプレーします。（出血をしにくくし、鼻の通りもよくなります）

## 前処置

痛くなく、安心です。

3

鼻腔に麻酔薬を注入します。（局所麻酔ですので眠くなりません）

4

鼻腔に、麻酔薬を塗ったチューブを挿入して、鼻腔の局所麻酔を行います。（鼻腔の痛みが抑えられ、内視鏡が通りやすくなります）

## 鼻からの内視鏡検査

## 帰宅

眠くなる麻酔は使わないので、すぐに日常生活に戻れます。

※詳しくは医療機関でおたずねください。